

TOTO オートストッパーモスタットシヤワー金具・バス水栓

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けて下さい。取付後は、お客様にご使用方法を十分で説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

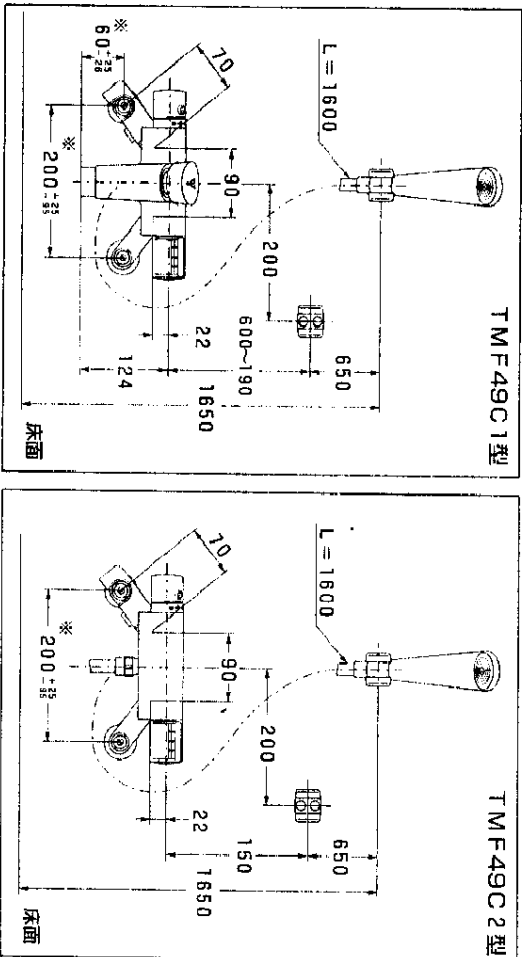
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

湯水を逆に配管しないてください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。

完成図



※印は配管ピッチが（標準器）の場合です。
注）品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧… (下表参照)
最高圧力…………… 0.75 MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

| 給湯機タイプと号数 | 最低必要水圧 | |
|-----------------|-------------------|--------------|
| 能力手動切替タイプ | | |
| 12号 | A+018 | |
| TOTO ハイカスタム | U16 U20 | 0.09 0.08 |
| TOTO ハイリコン | U16 U20 U21 | 0.07 |
| TOTO ハイコラント | U24 S16 S20 | 0.08 |
| TOTO ハイアクライン | GU24 32 40 | |

注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

<設定条件>

- 止水栓・流量調節弁は全開
- シヤワー吐水温度：42℃
- 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

- り) 比例制御タイマの場合
 - 給湯温度は60°Cに設定
 - 水温の低い(5°C) 冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- (2) 貯湯式給湯機と相合せる場合

給水・給湯圧力

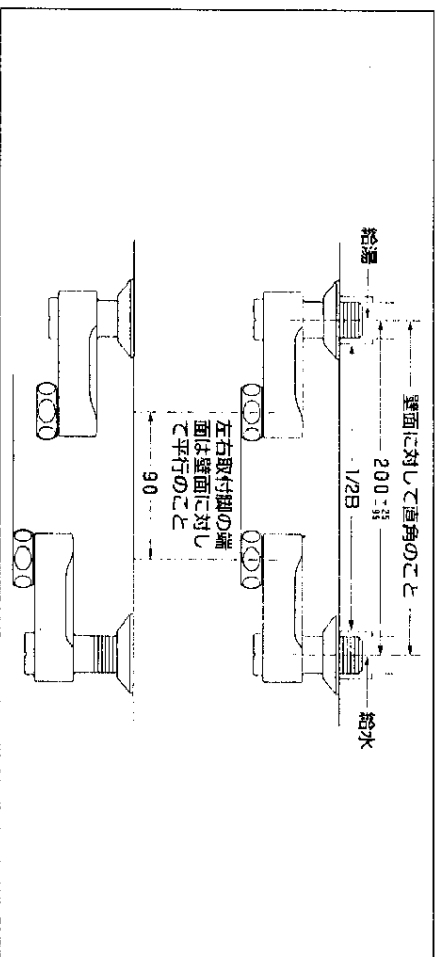
| |
|-----------------|
| 最低必要水压…0.05 MPa |
| 最高圧力………0.75 MPa |

※給湯圧力が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

- 但し、給湯圧力は給水圧力より高くないように設定してください。
 2. 給湯温度は使用する温度より10°C以上高くしてください。
 3. 給湯に蒸気を使用しないでください。
 4. 湯・水を逆配管しないでください。
- なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

1. 給水管内の掃除
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 取付脚の取付け

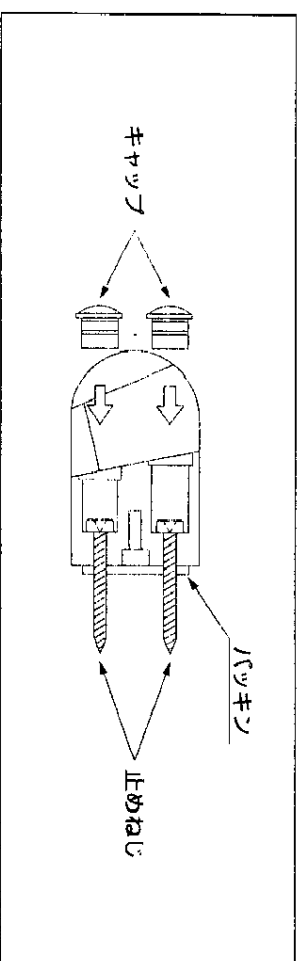


3. シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)
本体を取付脚に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。シャワーホースは取付脚の下から取り出してください。

※シャワーエールホースはねじ込みタイマのため締付けた時点より、下から取り出せる位置までもどしてからシャワーホースを取付けてください。



4. シャワーヘッド取付要領
キャップ (シャワーヘッド回転防止ゴム) は、ねじ穴に確実に押し込んでください。

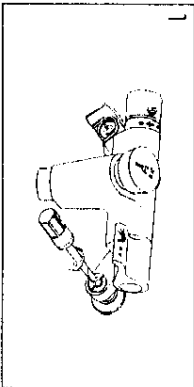


(自閉式) 施工説明書

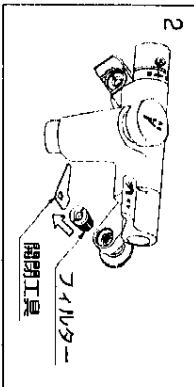
取付後の調節

1. フイルターの掃除

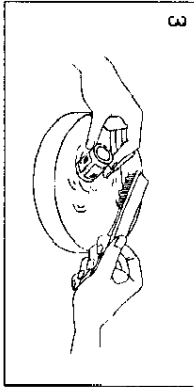
フイルターが詰まると吐水量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフイルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明ください。



(1) マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



(2) 開閉工具を溝に差し込み、フイルターをゆるめて取出してください。

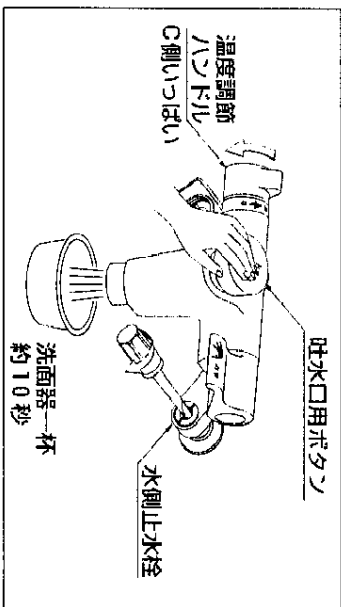


(3) フイルターの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

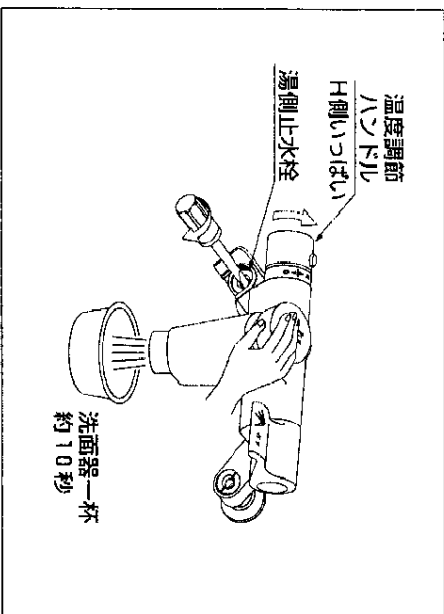
2. 吐水口の流量（水勢）の調節

製品の機能が十分発揮されるように、水圧の高い場合は次の要領で流量を調節してください。

(1) 洗面器を吐水口下に置き、温度調節ハンドルをC側いっぱいに戻します。吐水口用ボタンを押しつつつげ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように水側止水栓を絞ります。(約15L/min)



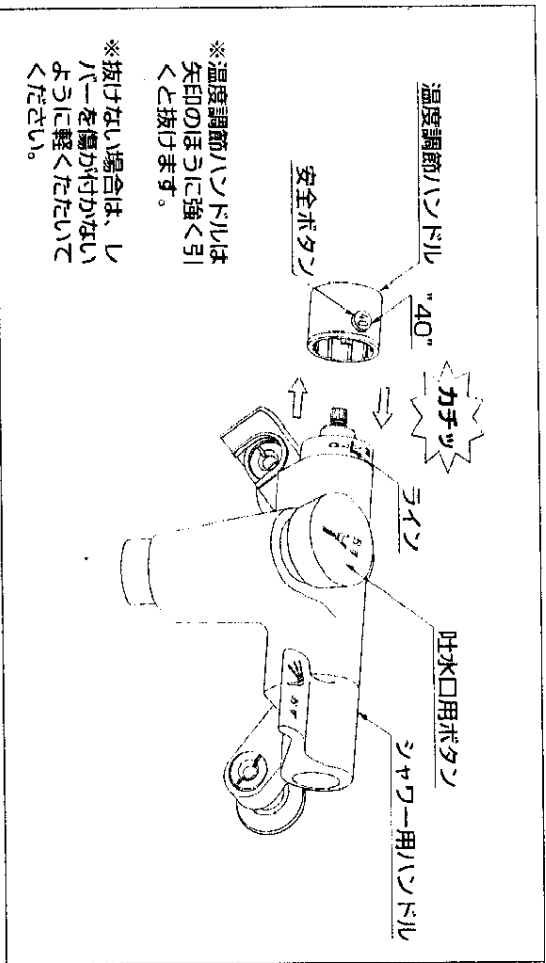
(2) 温度調節ハンドルをH側いっぱいに戻します。水側と同様に吐水口用ボタンを押しつつつげ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように湯側止水栓を絞ります。(約15L/min)



3 温度の調節

工場で温度調節をしていますか取付現場の圧力状況などによって、目盛どりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。調節する前に十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか確認してください。

- (1) 吐水口より（但しTMF 49 C 2型の場合はシャワーより）吐水させて温度調節ハンドルの目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。（高温側に回すときは安全ボタンを押してください。但し、安全のため、45℃以上の温水は出ないようにしています。）
- (2) 温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜取ってください。
- (3) 安全ボタンの“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチツ”と音がするまで押込んでください。



※温度調節ハンドルは矢印のほうに強く引くと抜けます。
※抜けない場合は、レバーを動か付かないように軽くたたいてください。

再生紙を使用しています。

吐水量の調節

吐水時間（シャワー側）及び吐水量（吐水口側）調節機能を備えていますので好みの吐水時間及び吐水量に調節することができます。

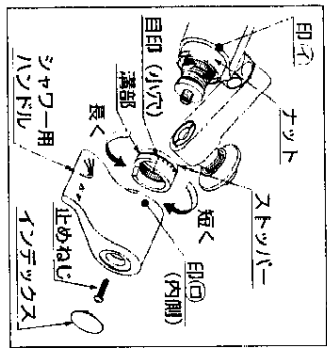
1. シャワー側の調整

※まず、流量調節弁（TMF 49 C 2型の場合は湯割、水阻止水栓）でシャワーの流量（水勢）をお好みの量に調節し、吐水時間を確認してください。（7～11L/minが目安です）流量（水勢）の調節を行ってもお好みの吐水時間が得られない場合は、次の要領で調節してください。

工場出荷時は一回の操作で2秒程度の吐水時間に調節しています。

- (1) インデックス及び止めねじを取外します。
- (2) シャワー用ハンドルを取外し、ストッパーの溝部にスライナスライバーなどを差込み、ストッパーを取外します。
- (3) ストッパーをはめかえて吐水時間を調節します。
目安としてストッパーの目印（小穴）を15°毎に設けておきます。
調節は半ピッチ（7.5°）毎できます。
半ピッチで約10秒の調節ができます。
右回転……吐水時間が短くなります。
左回転……吐水時間が長くなります。
- (4) ストッパーの目印（小穴）を本体上④の印を目安にしてはめ込みます。なお、ストッパーの溝部がチャットの端面と合うまでストッパーを押し込みます。
- (5) シャワー用ハンドルを本体上⑤の印とハンドル内側の印を合わせて取付け、止めねじを締付けます。
- (6) シャワー用ハンドルを一度押して吐水時間を確認します。
- (7) お好みの吐水時間に調節が終わったらインデックスを取付けます。

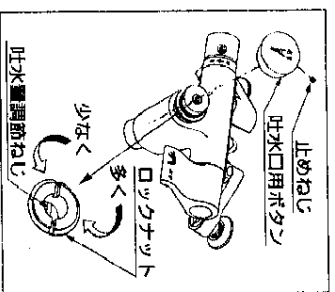
※印④と印⑤を確実に合わせてシャワー用ハンドルを取付けてください。印がずれるとお好みの吐水時間が得られなくなります。



2. 吐水口側の調節（TMF 49 C 1型の場合）

工場出荷時は一回の操作で洗面器一杯分（約3L）程度吐水するように調節しています。

- (1) 止めねじを緩めて吐水口用ボタンを引抜き取外します。
- (2) ドライバーでロッキングチャットを緩めます。
- (3) ロッキングチャットの穴よりドライバーを差込み、吐水量調節ねじを回転させて調節します。
（一回転で約2Lの調節ができます。）
右回転……吐水量が多くなります。
左回転……吐水量が少なくなります。
- (4) ハンドルを一度押して吐水量を確認します。
- (5) お好みの量に調節が終わったらロッキングチャットを確実に締付けた後、吐水口用ボタンをマークが正面を向くようにはめ込み、止めねじを緩まないよう十分締付けてください。



※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事後、ハンドルなどに吊り下げておいてください。

